

5	自分たちのまちに愛着や誇りを持ち、住み続けたい松山をつくります	1	コンパクトシティのシンボル広場として市駅前広場を整備し、公共交通の利用を促すほか、歩行者の賑わいを中心市街地に取り戻します。また、JR松山駅周辺やインター東線など、社会基盤整備を着実に進めます。
取組	公共交通の利用促進		担当 都市・交通計画課
実績	<p>● 市駅前広場の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に広場改変後の交通シミュレーションを行い、交通渋滞緩和策(バス運行ルート変更、信号時間変更)を段階的に実施 交通影響や賑わいの効果を調べるための社会実験を実施(R3.11) 市民意見や社会実験の結果などを踏まえ、市駅前広場の整備計画をとりまとめ(R4.3) 市駅前商店街のアーケード撤去完了(R4.10) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="300 629 746 920">  <p>完成イメージ</p> </div> <div data-bbox="914 629 1345 920">  <p>市駅前商店街の状況(R4.11)</p> </div> </div>		
取組	中心市街地の活性化		担当 地域経済課 都市デザイン課
実績	<p>● 市街地再開発の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 湊町三丁目C街区地区で第一種市街地再開発事業等を都市計画決定(H31.1) 一番町一丁目・歩行町一丁目地区で第一種市街地再開発事業等を都市計画決定(R1.6) <p>● 商店街の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> キャッシュレス決済端末と共通IC型ポイントカードシステムの導入を補助し、中央商店街の約2/3の店舗のキャッシュレス化を支援(H30年度、R1年度) 中心市街地商店街(花園町通り、まつちかタウン、銀天街、大街道、ロープウェー街)の快適な歩行空間を活かし、回遊性の向上や来街者の増加、商店街の魅力向上のため、イベント等を実施 <p><選定></p> <ul style="list-style-type: none"> 花園町通り商店街(花園まちづくりプロジェクト協議会)と松山中央商店街(株式会社まちペイ)が「はばたく商店街30選」に選定(R3.12) 		
取組	JR松山駅周辺及びインター東線の整備推進		担当 松山駅周辺整備課 道路河川整備課
実績	<p>● JR松山駅周辺</p> <ul style="list-style-type: none"> 「松山駅まち会議」設置(H30.12) 「南江戸本村公園」完成(H31.4) バスタプロジェクト実現に向け「松山駅交通拠点機能強化検討会」を設置(R4.5) <p style="text-align: center;">R4.3末 総事業費に対する土地区画整理事業進捗率 60 %</p> <p>● インター東線</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市計画事業承認及び事業認可の告示(R4.2) 		

5	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	2	花園町通りの歩行者空間や堀之内でのマルシェなどの充実のほか、松山の農林水産物を活かした新たな賑わいづくりを進めます。
---	---------------------------------	---	--

取組	松山の農林水産物を活かした新たな賑わいづくり	担当	地域経済課 農水振興課
----	-------------------------------	----	----------------

● 花園町通り

- ・ 地元商店街関係者でつくる「花園まちづくりプロジェクト協議会」で、「お城下マルシェ花園(第3日曜日)」と「まつやま花園日曜日(第4日曜日)」の開催を支援

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	人
花園町通りの通行者数	6,432	4,941	2,975	3,290	

※ マルシェ1回あたり平均

● 堀之内

- ・ 「えひめ・まつやま産業まつり」で、地元生産者が行う農林水産物のPRや販売を支援

<受賞など>

- ・ 「花園町通り」が「ソトノバ・アワード2018」でプロジェクトデザイン部門賞受賞(H31.1)
- ・ 「花園町通り」が「第31回全国街路事業コンクール」で国土交通大臣賞を受賞(R1.6)
- ・ 「花園町通り」が「2019年度土木学会デザイン賞」で最優秀賞を受賞(R2.1)
- ・ 「花園町通り」が「第34回愛媛経済同友会美しいまちづくり賞」で都市景観部門を受賞(R2.5)
- ・ 花園町通り商店街(花園まちづくりプロジェクト協議会)と松山中央商店街(株式会社まちペイ)が「はばたく商店街30選」に選定(R3.12)

実績



5	自分たちのまちに愛着や誇りを持ち、住み続けたい松山をつくります	3	風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。
取組	地域資源を活かした魅力の創出		担当 まちづくり推進課 坂の上の雲ミュージアム
実績	<p>●『坂の上の雲』のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域資源を活かした市民主体のまちづくりや地域の宝の保存、活用、継承などに関する活動を支援 「ふるさとウォーク」や「サイクルロゲイニング」、「挑め！フィールドミュージアムマスター」などのイベントをとおして、『坂の上の雲』のまち松山の魅力を発信 <p>●坂の上の雲ミュージアム</p> <ul style="list-style-type: none"> 『坂の上の雲』のまちづくりの中核施設として、様々なイベントを開催し、情報を発信 毎年新しいテーマを設定する企画展のほか、大和ミュージアム(呉市)、村上海賊ミュージアム(今治市)、博物館明治村(犬山市)と連携した事業を実施 <p style="text-align: center;">R4.11末時点 来館者数(累計) 58,774 人</p> <p>(企画展)</p> <p>第13回「これがあしの空じゃ。—『坂の上の雲』にみる俳句—」 第14回「『坂の上の雲』のひとびと」 第15回「『坂の上の雲』にみる日本海海戦—「運命の海」」</p> <p>(特別展)</p> <p>「中世の忽那諸島—海の領主・忽那氏の世界」(R1年度) ※博物館連携 「秋山真之と海軍兵学校」(R2年度) ※博物館連携 「三館連携特別展示のあゆみ」(R3年度) ※博物館連携 「三輪田米山×小池邦夫in坂の上の雲ミュージアム」(R3年度) ※三輪田米山生誕二百年記念特別展 「柳生悦子『坂の上の雲』衣装原画展」(R4年度) ※開館15周年記念 小林修写真展「司馬遼太郎『坂の上の雲』の視点」(R4年度) ※開館15周年記念</p> <p>(その他)</p> <p>展示映像「明治体感—建物で見る『坂の上の雲』の時代」(R2年度) ※博物館連携 「安藤忠雄 建築の軌跡」コーナーを新設(R3年度) 近現代建築パネル展(R3年度) 坂の上の雲ミュージアム開館15周年記念シンポジウム(R4年度) ※開館15周年記念</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="389 1496 820 1760" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="940 1496 1342 1760" data-label="Image"> </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 『坂の上の雲』ふるさとウォーク 令和4年4月に開館15周年を迎えた 坂の上の雲ミュージアム </p> <p>●風早(北条地域)</p> <ul style="list-style-type: none"> 風早活性化協議会を中心に、鹿島、JR北条駅前でのイベントや北条鯛めしのブランド化などを支援 令和元年度に「風早にぎわいレトロまつり」を河野別府公園(ふるさと館)で「風早マラソン」と同時開催したほか、高縄山遊歩道散策事業や体験型まち歩きイベントを実施するなど、活性化に取組み 北条鹿島レストハウスに喫茶スペースオープン(R3.7) 		

風早海まつり	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
観客総数	48,000	-	-	29,000

※ 令和2、3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止

<受賞など>

- ・ 海ネットイベントプランコンテストで「風早サンドアートフェスタ2018」が奨励賞を受賞(R1.5)
- ・ 「北条鯛めし」が、文化庁が認定する「100年フード」(伝統の100年フード部門)に認定(R4.3)

● 忽那諸島

- ・ まつやま里島ツーリズム連絡協議会を中心に、島の自然や文化などを体験する里島ツーリズムを支援
- ・ お試し移住施設利用者へのサポートや移住体験ツアー、婚活イベント等を実施し、移住定住を促進

定住世帯数	R4.11末
神浦定住促進施設(累計)	12 世帯
ハイムインゼルごごしま(累計)	4 世帯

移住体感ツアー	H30～R4年度
参加者数(累計)	56 人

婚活イベント	H30～R4年度
カップル成立数(累計)	69 組
うち成婚数	9 組



ほしふるテラス姫ヶ浜

- ・ 老朽化した「姫ヶ浜荘」を建て替え、「ほしふるテラス姫ヶ浜」としてリニューアルオープン(R2.7) ※名称は公募で決定

実績

● 三津浜

- ・ 三津浜地区にぎわい創出実行委員会を中心に、にぎわい創出事務所「三津ハマル」の運営やチャレンジショップ、三津浜焼きのブランド化などの活動を支援

	H30～R4年度
町家バンクマッチング件数(累計)	96 件
うち新規出店数(累計)	74 件
うち市外からの移住件数(累計)	28 件

	R1年	R2年
全国ご当地こなもんサミット来場者数(概数)	14,000	16,300

※ R3年、R4年は新型コロナウイルス感染症対策のため未実施

<受賞など>

- ・ 「三津浜地区にぎわい創出実行委員会」が、令和3年度「地域づくり表彰」で国土交通大臣賞(地域づくり部門)を受賞(R3.11)
- ・ 「三津浜焼き」が、文化庁が認定する「100年フード」(近代の100年フード部門)に認定(R4.3)
- ・ 三津浜焼きの「台付き」が、「文化を味わう! コナモン100選」に選定(R4.10)



三津浜にぎわい創出事務所「三津ハマル」

- 久谷・砥部
 - ・ 愛媛大学と地元まちづくり団体が協働して地域活性化に取り組む「フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ」を開始(R4.5)
- 地域おこし協力隊
 - ・ 平成28年8月から、地域おこし協力隊員の採用を始め、令和元年7月と令和3年3月に任期満了した中島地域の隊員2人が島内で起業、定住

	R4.11月末	
隊員数(累計)	9	人
うち定住者(累計)	4	人

取組

子どもや若者のシビックプライドの醸成

担当

まちづくり推進課、シティプロモーション推進課、地域学習振興課、教育研修センター事務所

- 『坂の上の雲』のまちを巡ろう！360度動画リレー
 - ・ 若い世代が地域の宝をPRする動画を制作し、YouTubeで公開(R3年度～)
- マツワカ
 - ・ 地元の学生を中心としたプロジェクトチーム「マツワカ」結成(R1年度)
 - ・ 地元で活躍する先輩へのインタビューや松山の魅力を発信するポスター制作など、愛着や誇りを高める活動を実施(R1年度～)

	R1年度	R2年度	R3年度	
プロモーション活動における情報接触人数	407,500	412,600	413,600	人

※ ウェブサイトの訪問者数・フリーペーパー配布数等

<受賞>

- ・ 「マツワカ！ポスターコンペ2020『#松山家』」が第40回「愛媛広告賞」OOHメディア広告部門で最優秀賞受賞(R3.6)



マツワカ



マツワカ！ポスターコンペ2020
「#松山家」

- 中学生連載企画 私たちのふるさと松山学
 - ・ 「広報まつやま」に中学生が作成する「私たちのふるさと松山学」を掲載し、松山の魅力を広く発信

	R4.11月末時点
掲載回数(累計)	50

- 立岩ダッシュ村農業体験学習
 - ・ 活動をとおして参加児童が地域の魅力を発見する機会となるほか、大学生スタッフや過去の参加者など、参加児童以外にも立岩地区への愛着を生んでいる



立岩ダッシュ村

実績

5	自分たちのまちに愛着や誇りを持ち、住み続けたい松山をつくります	4	環境モデル都市としてスマートシティ化やごみ減量・リサイクルを進めます。また、アーバンデザインセンターの活動を充実し、総合的なまちのデザインを形成するなど、美しく快適な都市空間を創造します。
---	---------------------------------	---	--

取組	スマートシティの推進	担当	企画戦略課 環境モデル都市推進課
----	-------------------	----	---------------------

実績	<ul style="list-style-type: none"> ● クリーンエネルギー設備等の導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ クリーンエネルギー設備等の導入者に補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ※ 太陽光発電システムの累積補助件数、出力容量は中核市で最多 																								
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1年度</td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補助件数</td> <td>532</td> <td>1,095</td> <td>520</td> <td>814</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>うちZEH上乗せ補助</td> <td>46</td> <td>184</td> <td>98</td> <td>120</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>出力容量</td> <td>3,039</td> <td>6,377</td> <td>3,501</td> <td>5,234</td> <td>kW</td> </tr> </table>		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		補助件数	532	1,095	520	814	件	うちZEH上乗せ補助	46	184	98	120	件	出力容量	3,039	6,377	3,501	5,234	kW
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																				
	補助件数	532	1,095	520	814	件																			
	うちZEH上乗せ補助	46	184	98	120	件																			
	出力容量	3,039	6,377	3,501	5,234	kW																			
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電気自動車・燃料電池自動車購入者、V2H(Vehicle to Home)設置者への補助を開始(R3年度～) 																								
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R3年度</td> <td>R4年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>V2H充放電システム設置</td> <td>7</td> <td>20</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>電気自動車・燃料電池自動車導入</td> <td>41</td> <td>231</td> <td>件</td> </tr> </table>		R3年度	R4年度		V2H充放電システム設置	7	20	件	電気自動車・燃料電池自動車導入	41	231	件												
		R3年度	R4年度																						
	V2H充放電システム設置	7	20	件																					
電気自動車・燃料電池自動車導入	41	231	件																						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年度に道後地区、令和3年度に中島地区に太陽光発電でスマートフォン等に充電できるソーラー充電スタンドを設置 																									
<ul style="list-style-type: none"> ● 温室効果ガスの削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 松山市の削減目標 令和12年度までに <table border="1"><tr><td>排出量約405万t-CO2</td></tr></table> <ul style="list-style-type: none"> ※ (基準年度の平成25年度比-27%) 	排出量約405万t-CO2																								
排出量約405万t-CO2																									
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>R1年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>温室効果ガス排出量</td> <td>375.2万</td> <td>t-CO2</td> </tr> <tr> <td>温室効果ガス削減率(H25年度比)</td> <td>-32.4</td> <td>%</td> </tr> </table>		R1年度		温室効果ガス排出量	375.2万	t-CO2	温室効果ガス削減率(H25年度比)	-32.4	%																
	R1年度																								
温室効果ガス排出量	375.2万	t-CO2																							
温室効果ガス削減率(H25年度比)	-32.4	%																							
<ul style="list-style-type: none"> ● SDGsの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「SDGs未来都市」と「自治体SDGsモデル事業」に選定(R2年度) <ul style="list-style-type: none"> ※ 両方の選定は四国初 ・ 産・学・民・官・金などの多様なステークホルダーが協働するプラットフォーム「松山市SDGs推進協議会」設立(R2.7) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>R2年度</td> <td>R3年度</td> <td>R4.11末</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会員団体数</td> <td>156</td> <td>211</td> <td>227</td> <td>団体</td> </tr> </table> 		R2年度	R3年度	R4.11末		会員団体数	156	211	227	団体															
	R2年度	R3年度	R4.11末																						
会員団体数	156	211	227	団体																					
<ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs推進の旗振り役になる「松山市SDGs推進コンダクター」を初めて認定(R4.9) <table border="1"> <tr> <td>認定者数</td> <td>35</td> <td>人</td> </tr> </table> ・ ほしふるテラス姫ヶ浜等の島内施設で、グリーンスローモビリティの実証運行を開始(R3年度～) ・ ほしふるテラス姫ヶ浜に停電時でも電源を確保できる蓄電池を備えたソーラーカーポートを設置(R3年度) 	認定者数	35	人																						
認定者数	35	人																							
 <p>ソーラーカーポート</p>	 <p>「松山市SDGs推進コンダクター」認定式</p>																								

取組	ごみ減量・リサイクルの推進	担当	環境モデル都市推進課、清掃課、清掃施設課、下水浄化センター
----	----------------------	----	-------------------------------

実績	<p>● 食品ロス削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 「3010運動」や「冷蔵庫チェック」を呼びかけるなど、食品ロスを削減 <table border="1" data-bbox="352 344 1310 416"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「3010運動」協賛店舗数</td> <td>42</td> <td>39</td> <td>40</td> <td>41</td> <td>店舗</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="312 450 1118 521"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日当たりのごみ排出量</td> <td>773.1</td> <td>763.2</td> <td>761.0</td> <td>g</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="416 555 1118 627"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ごみの再資源化率</td> <td>18.9</td> <td>19.4</td> <td>18.6</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 浄化センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 浄化センターから排出される下水汚泥をセメント資源化や堆肥化して有効利用するほか、中央浄化センターでは下水汚泥処理の過程で発生する「消化ガス」を利用した発電による売電を実施 <p>● 横谷埋立センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 浸出水を利用してエコ次亜を生成し、下水処理の消毒剤として使用(松山方式) <table border="1" data-bbox="448 891 1289 963"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4.11末</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エコ次亜生成量</td> <td>5,605</td> <td>5,414</td> <td>5,528</td> <td>4,199</td> <td>m3</td> </tr> </tbody> </table> <p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> 「エコ次亜事業」が環境省「地球温暖化防止活動大臣表彰」対策技術先進導入部門で環境大臣表彰を受賞(R1.12) 		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		「3010運動」協賛店舗数	42	39	40	41	店舗		R1年度	R2年度	R3年度		1人1日当たりのごみ排出量	773.1	763.2	761.0	g		R1年度	R2年度	R3年度		ごみの再資源化率	18.9	19.4	18.6	%		R1年度	R2年度	R3年度	R4.11末		エコ次亜生成量	5,605	5,414	5,528	4,199	m3
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度																																								
	「3010運動」協賛店舗数	42	39	40	41	店舗																																							
		R1年度	R2年度	R3年度																																									
1人1日当たりのごみ排出量	773.1	763.2	761.0	g																																									
	R1年度	R2年度	R3年度																																										
ごみの再資源化率	18.9	19.4	18.6	%																																									
	R1年度	R2年度	R3年度	R4.11末																																									
エコ次亜生成量	5,605	5,414	5,528	4,199	m3																																								

取組	美しく快適な都市空間の創造	担当	都市・交通計画課 都市デザイン課
----	----------------------	----	---------------------

実績	<p>● 松山アーバンデザインセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> 公・民・学が連携しスマートシティの検討や都市空間の利活用に関する社会実験の他、まちづくりの担い手を育成 湊町から花園町通りに移転し、併せて、新しい活動拠点「もぶるラウンジ」をオープン(H31.1) ※ アートを活用したまちづくりを行う松山ブンカ・ラボと併設 市民の参加者が、地域資源を生かした新しい公共空間を構想し実践する「アーバンデザイン・スマートシティスクール松山」開講(R3年度～) <p><受賞></p> <ul style="list-style-type: none"> 「アーバンデザイン・スマートシティスクール松山」の活動が「都市景観大賞」景観まちづくり活動・教育部門で優秀賞を受賞(R4.5)
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="245 1697 778 2018">  <p style="text-align: center;">もぶるラウンジの様子</p> </div> <div data-bbox="833 1697 1382 2018">  <p style="text-align: center;">スマートシティスクールでの活動</p> </div> </div>